

事業計画書（実績書）

令和4年 3月 29日

団体名 あやべ大学実行委員会

<p>事業の目的 (何のために行う事業なのか など、事業の趣旨や目的を記入 してください。)</p>	<p>ニューノーマルにおける地域と大学との連携（域学連携）や地域貢献、地域共生・連携という地学一体という観点より、綾部市の魅力を外部の視点を織り込み発信を行う。また、綾部市在住の地域の方々に地学一体で行う地域人材の育成に関し、他の自治体の成功事例を踏まえて講演を実施することを通じて、綾部市の魅力を発信することを目的とする。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>あやべ大学</p>
<p>事業費 (市補助金)</p>	<p>109,640 円 ( 100,000 円)</p>
<p>補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。)</p>	<p>講師費用 会場レンタル費、広告宣伝費など</p>
<p>事業の実施期日</p>	<p>令和4年3月13日、3月20日（2日間）</p>
<p>事業の実施場所</p>	<p>3月13日/志賀郷地区 3月20日/あやべ・日東精工アリーナ</p>
<p>事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)</p>	<p>武庫川女子大学経営学部の教員である藤井善仁氏による研究発表。一年間、志賀郷の住民90名以上の方にアンケート調査を行い、その中で出てきた問題や意見などの発表、考察。 「将来は地元に戻ってきて欲しいが仕事がない」「大変な農作業はさせたくない」などの住民の考えている矛盾点や問題点などを報告。  これからの地域発展を考えるとSNS等を利用し、情報発信などが必要とされるなどの提案もあった。  今回は藤井先生が住んでおられた志賀郷を中心に調査したため、志賀郷公民館、その他の綾部市民も参加しやすいよう日東精工アリーナの2カ所で開催した。  志賀郷公民館 50名 日東精工アリーナ 25名 参加</p>
<p>補助金の効果（成果） (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)</p>	<p>今までは漠然としていた問題（Uターン、跡継ぎなど）を実際の表やグラフで視覚的に把握できた。 今後はこれらの問題をどうすれば解決できるかなどを、さらに調査やディスカッションを行っていく。  今回は一年間のアンケートを元に現状の把握が中心だが、今後はさらに多くの住民、他の地域の住民にもインタビューを行い、綾部市全体がどのような考え方なのかを調査していきたい。</p>

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収支予算書（計算書）

令和4年 3月 29日

団体名 あやべ大学実行委員会

(単位：円)

収入の部		区分	予算額	収入済額	明細
		市補助金	100,000	100,000	
		自己資金	20,000	9,640	
		合計	120,000	109,640	
支出の部		区分	予算額	支出済額	明細
		講師費用	60,000	60,000	30,000円×2日間
		講師交通費	10,000	0	
		講演会会場レンタル	5,000	6,300	市民センター研修室
		音響等設備レンタル	30,000	0	
		会場ボランティア	15,000	0	
		新聞広告費	0	15,840	市民新聞広告
		チラシ印刷、書類	0	27,500	A4チラシ3000枚、打ち合わせ資料他
		合計	120,000	109,640	
差引			0	0	